

国内自社工場製スノーボードが世界 No.1 へアシスト
**ハイエアと高回転スピンを可能にする
オールカーボンボード「REV（レヴ）」使用の戸塚優斗が
世界最高峰の舞台 US オープンで初優勝**



約 16 メートルのハイエアで超高難度の大技を決め US オープン初優勝した戸塚優斗（写真提供：Daniel Honda）

3月1日にアメリカコロラド州バイルマウンテンリゾートにて行われたオリンピックや X GAMES と並び権威ある大会「US オープン」の男子ハーフパイプ決勝で、チームヨネックスの戸塚優斗が同大会初優勝を飾りました。日本人としては 4 人目の快挙達成です。

前半はレギュラーパイプ、後半がスーパーパイプからなる変則的なコースでしたが、戸塚はうまく対応しました。前半は習得に 2 年を費やした伝説的な技マックツイストからアーリーウープ 540 をメイク。後半は縦に 2 回・横に 4 回転する大技 FS ダブルコーク 1440 インディに始まり、横に 3 回転半・縦に 2 回転する CAB ダブルコーク 1260 クレイル、そしてスイッチ BS ダブルコーク 1080 インディに繋げる全方向スピン※の超高難度ルーティンを決めました。

その超高難度の技を生み出すのが、国内自社工場製のオールカーボンスノーボード「REV」。REV は従来のボードを大きく上回るスウィングウェイトの軽量化をはかるための弊社独自の新構造「STOMP-TECH 3.0」を投入。さらに優れた反発力と衝撃吸収性を併せ持つ、新素材「NANOMETRIC DR」を使用。滞空時間の長いハイエアと、安定した高回転スピンを生み出し、世界レベルで戸塚優斗のライディングを支えています。

戸塚は「REV は反発力があるので高く飛べるし、操作性が高いのでスピンもしやすいですね。今回この US オープンは変則的なコースでしたが、思いのままに大技が繰り出せたのも REV のおかげです。」と語ってくれています。

戸塚優斗使用ボード：REV®

ウェア：JACKET、PANTS

※左足前にしたときの左回り、右回り、右足前にしたときの左回り、右回りの 4 方向

INNOVATION

ヨネックス史上最軽量スウィングウェイト「STOMP-TECH3.0」が 高回転スピンを可能にする

反発を強くしつつ、ノーズとテールはハニカム構造を導入し、ヨネックス史上最軽量の独自の
新構造「STOMP-TECH3.0」を採用。重心をボードの中心に配置することでスウィングウェ
イトが軽くなり、エアで高回転スピンと安定したパフォーマンスを生み出します。



製品概要



REV (レヴ)	¥98,000+税
サイズ	150・153・156・159
カラー	オーシャンブルー
構造	STOMP-TECH3.0+高弾性カーボン複合スクエアチューブ
素材	高強度カーボン+高弾性カーボン+ナノメトリック DR、ISO コア、アラミドハニカム
滑走材	ISO SPEED 7800・ストラクチャー仕上げ
日本製	
発売	2020年7月予定

TEAM YONEX 2019-20 シーズン戦績

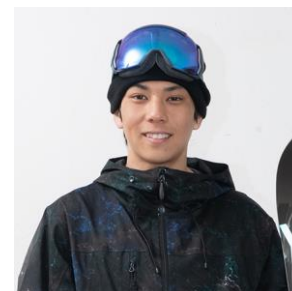
戸塚優斗

2019年W杯カッパーマウンテン男子ハーフパイプ 2位
2019年W杯シークレットガーデン男子ハーフパイプ 2位
2020年W杯ラークス男子ハーフパイプ 2位
2020年X GAMES ASPEN 男子スーパーパイプ 銀メダル
2020年W杯マンモスマウンテン男子ハーフパイプ 優勝
2020年Dew Tour 男子モディファイドスーパーパイプ 準優勝
2020年US OPEN 男子ハーフパイプ 優勝
2019/2020 シーズン W杯種目別総合2位



平野流佳

2019年W杯カッパーマウンテン男子ハーフパイプ 3位
2019年W杯シークレットガーデン男子ハーフパイプ 3位
2020年第3回冬季ユース五輪男子ハーフパイプ 金メダル
2020年W杯マンモスマウンテン男子ハーフパイプ 3位
2020年W杯カルガリー男子ハーフパイプ 優勝
2019/2020 シーズン W杯種目別総合3位



富田るき

2020年W杯ラークス女子ハーフパイプ 4位
2020年US OPEN 女子ハーフパイプ 3位

